

平成24年度 中期経営計画 中期経営方針

長期的な建設投資の低迷や、少子高齢化の進展などに加え、東日本大震災による価値観の変化など、これまでの概念では対応しきれない課題・問題が顕在化しており、社会全体が構造変化の流れに直面している。このような状況の中、当社は持続的成長を果たしていくための10年後のあるべき姿を描いた「2020ビジョン『深化と挑戦』」を策定し、長期的な経営の方向性を全社員が共有し、目標に向かって継続して挑戦していくこととしている。

平成24年度中期経営計画は、2020ビジョンとの整合性を図りながら、「安全の確保と業務品質の向上」をベースに、各主要施策に取り組んでいくことによって、中期経営目標『生産性向上による強靱な経営体質の早期実現』

を達成していくこととする。また、東日本大震災からの地域復興へ貢献するべく、「ライフラインのトータルサポーター」としての使命を果たしていくこととする。

なお、平成24年度は平成22年度中期経営計画(H22年度～H24年度)の3年目であり、本来、計画継続年度であるが、経営環境が大きく変化したことから、平成24年度を起点とする中期経営計画を再策定し、環境変化に適応していくこととする。

2020ビジョン

『お客さまと地域から信頼され・選ばれ続けるとともに、従業員が夢と誇りを持てるユアテック』への成長

震災復興対応	地域の震災復興に貢献するライフラインのトータルサポート
成長戦略	アクションプラン
現場力・職場力の向上	1 人と技術の活性化
グループ体型経営によるさらなる効率化	2 生産性の向上を見据えた業務運営体制の構築
挑戦できる『場』の拡大	3 グループ企業の役割・機能分担明確化
	4 ECOソリューションの推進
	5 地域ニーズに応えた新規事業の探求
	6 関東圏における体制強化
	7 海外事業の拡大

当社を取巻く環境

社会 経済 情勢	○少子高齢化社会の進展	
	○為替問題や世界経済の先行不安等による景気不透明感	
	○国内産業の海外シフトの加速	
	東北電力の状況	○東日本大震災による価値観の変化(再生可能エネルギー等への期待感・防災意識の高まり)
		○電気事業のあり方を含めたエネルギー政策見直し議論の開始
		○東北電力における震災の影響等による厳しい収支状況・財務体質の悪化
	建設業界	○「安全と安定供給の確保」と両立させた「コスト削減・効率化」への東北電力企業グループ一体となった取り組み
		○被災自治体の復興計画の具体化(再生可能エネルギー導入拡大等)
		○復興需要への期待と政局混乱等による遅延への懸念
		○復興需要獲得を目指した同業他社の進出等による競争の激化
○労務費・資材費高騰の懸念		

重要課題

- ◆被災地域の「ライフラインのトータルサポーター」としての使命遂行 (東日本大震災からの復興への貢献)
- ◆電力安定供給への貢献・東北電力収益基盤再構築の動きを踏まえた当社としての収益安定性の確保 (一般市場からの収益拡大)

2020ビジョン達成に向けた基礎づくり

中期基本目標：生産性向上による強靱な経営体質の早期実現

～従業員一人ひとりの能力アップと抜本的な業務効率化の推進等により、10%以上の生産性向上を目指す～

《主要施策》

